

企画提案書

提案書の作成にあたっては、次の A から D の順に A4 用紙に記載して下さい。なお、提出が求められている資料については、実際に貴社が実施しているサービスとして提供しているもののコピーでも構いません。

なお、日本貿易保険の事業等については弊社ホームページ〈URL:<http://nexi.go.jp/>〉をご覧ください。

申請年月日：

法人名： 印（なければ省略可）

代表者氏名： 印又は署名

住所：

ご担当者：（所属、氏名、連絡先）

A. 貴社の概要

(1) 事業概要及び組織

(2) 財政状態

- ・ 過去 2 年間の財務諸表を添付してください。

(3) 貴社の人員（代表社員、アナリストなどの内訳を含む）

(4) 契約実績

- ・ 国際機関、海外および日本の官公庁、Export Credit Agencies との契約（顧客数、顧客先等）について、直近 5 年間の実績を記載してください。

(5) その他

- ・ 合併等、法人が予定している事業等の大きな変更等があれば記載して下さい。

【注】実績数等については、最近のデータを記載して下さい。

B. 貴社の調査実施体制等

(1) 調査実施体制等

① 調査部門の体制

- ・ 調査部門を地域毎に編成している場合、具体的なグループ構成のわかる資料を添付

してください。

②アナリストの人数等

以下の資料を添付してください。

- ・ レポート作成に参画しているアナリスト等の所在国毎の人数一覧表。
※レポート作成に参画する学識経験者等がいれば、アナリストの人数に含めてください。

(2) 調査部門責任者の経歴・実績

以下の資料があれば添付してください。

- ・ CV
- ・ カントリーリスク分析あるいは予測に関して、外部から評価を得た論文、報告
- ・ 内外主要メディア、専門誌等に掲載されたコメント、インタビュー、引用等

(3) その他

- ①過去の契約に関する指名停止処分等の有無。
- ②特筆すべき調査実績等があれば、記載もしくは必要な資料等を添付してください。

G. サービス内容について

1. デイリーベースのカントリーリスクレポートの提供

(1) カントリーリスク分析レポート

①基本事項

- ・ 提供可能な国/地域名をすべて記載してください。
- ・ 1ヶ月当たりの提供可能なレポート数を記載してください。
- ・ レポート作成における調査項目をすべて記載してください。
- ・ 過去3ヶ月以内に作成されたレポートのタイトル一覧表を提出してください。一覧表には国/地域名、タイトル、作成年月日を必ず記載してください。

②サンプルの提出

- ・ 仕様書に挙げた政治情勢、経済情勢、産業動向、多国間問題、国際機関情報の各トピック項目を踏まえて、過去1年以内に作成されたカントリーリスク分析レポートを添付資料として提出してください。
- ・ サンプルは以下のテーマに沿った内容に限ります。
 - ナイジェリアのカントリーリスクにかかる分析および見通し

(2) カントリーリスク即時情報

①基本事項

- ・ 提供可能な国/地域名をすべて記載してください。
- ・ 1ヶ月当たりの提供可能な即時情報数を記載してください。
- ・ 即時情報における調査項目をすべて記載してください。

- ・過去3ヶ月以内に発信された即時情報のタイトル一覧表を提出してください。一覧表には国/地域名、タイトル、作成年月日を必ず記載してください。
- ・即時情報の適時性にかかる方針（例えば、ある事象が発生したのち××時間以内など）を記載してください。

② サンプルの提出

- ・仕様書に挙げた政治情勢、経済情勢、産業動向、多国間問題、国際機関情報の各トピック項目を踏まえて、過去3ヶ月以内に作成された即時情報を添付資料として提出してください。
- ・サンプルのテーマは特に指定しませんが、国数にして10カ国程度提出をお願いします。

2. 主要な開発途上国/地域の政治、経済等にかかるプロフィール情報の提供

(1) 基本事項

- ・仕様書別紙 a で網掛け表示された国/地域のうち、プロフィール情報提供可能な国/地域名をすべて記載してください。
- ・プロフィール情報の掲載項目、レイアウト構成を記載してください。
- ・情報更新の目安（頻度）について記載してください。

(2) サンプルの提出

- ・提供されるサービスのインターネット上でのイメージをサンプルとして添付してください（国は問いません）。なお、サンプルとして添付されるイメージは一国のもの複数の国を比較した二種類の提出をお願いします。

3. 情報サービスの形態およびサポート体制

(1) 情報へのアクセス

- ・インターネット等電子媒体を利用した情報へのアクセスの可否を記載してください。
- ・情報のアクセスにかかる条件（例えば、アクセス可能な人数、利用可能な時間帯等）があれば記載してください。

(2) 電子メールによる案内情報

- ・最新のレポート類、その他の更新情報等が電子メールによって、デイリーで案内可能か否かを記載してください。
- ・電信メールで受け取る案内情報の、国別、トピックス別等の選別ができるカスタマイズの機能があれば記載してください。
- ・受領メールにおいてウェブサイト上のレポート閲覧に遷移可能なハイパーリンク機能の有無について記載してください。

(3) 情報検索の機能

- ・過去に作成されたレポート類の検索について、仕様書に挙げた検索方法（国/地域名

- 別、産業別、トピックス検索、キーワード検索)の可否を記載してください。
- ・仕様書に挙げた検索項目以外に、特色ある検索機能があれば記載してください。

(4) アーカイブ機能

- ・過去のレポート類について、いつまで遡って閲覧可能か記載してください。

(5) その他

- ・提供されたサービス(過去のレポート類等)に関して、貴社アナリストへの随時問い合わせの可否について記載してください。
- ・可能な場合、問い合わせの方法(電子メール、電話等)について記載してください。

D. 見積金額

- 仕様書にかかる見積金額をご提示ください。